

北摂の人口移動 2016年も転入超過

総務省が1月末に公表した、住民基本台帳に基づく2016年の人口移動報告によると、大阪府は転出者よりも転入者が多い転入超過となり、1,794人だった。北摂7市合計で見ても、3年連続で転入超過となっている。

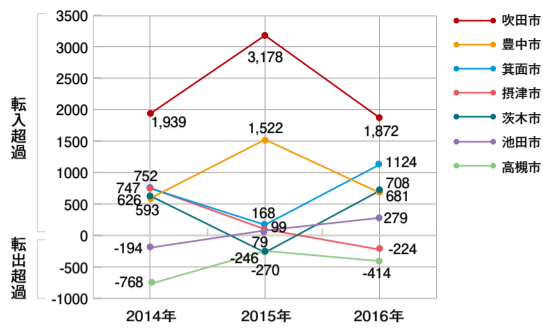
2016年 都道府県別 転入・転出超過数(人)

東京	74,177
千葉	16,075	鹿児島	-4,473
埼玉	15,560	岐阜	-5,031
神奈川	12,056	長崎	-5,573
愛知	6,265	福島	-5,839
福岡	5,732	新潟	-6,189
大阪	1,794	青森	-6,323
沖縄	-272	静岡	-6,390
宮城	-483	兵庫	-6,760
滋賀	-706	熊本	-6,791
京都	-750	北海道	-6,874

転入超過であるも 経済活性化が必要

近年、全国的に人口減少が叫ばれているなか、北摂エリアはその恵まれた立地と優良な住宅環境から、大阪の住宅地として人気がある。人口移動報告を市区町村別にみても、大阪市中心部と北摂以外のエリアでは転出超過のところが多い。都心回帰の流れが起こっていると同時に、宅地開発や子育て施策の充実などによって、北摂にも人口

市町別 転入・転出超過の推移(人)



大阪府内の転入・転出超過の推移(人)

	2014年	2015年	2016年
大阪府	-391	2,296	1,794
大阪市	7,162	11,662	9,474
北摂7市	3,695	4,530	4,026
南部25市	-6,154	-8,125	-5,846

3点とも出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」を元に作成

が流れていると考えられる。

一方で、北摂7市の中には転出超過となった自治体もある。高槻市は、民間の住宅情報会社が行う、関西圏の住んでよかった街人気ランキングなどで上位となり、人気のエリアであるが、3年連続で転出超過となっている。高槻市の担当者は「住宅地としてのニーズはあるが、それに対する住宅の供給が追いついていない。また、宅地開発が他市よりも早く行われ、駅前のマンション開発も一段落したことで、ここ最近では新規物件がなかなか出

てこないのが実状」と話す。

大阪の人口動態に詳しい、奈良学園大学の三浦晴彦准教授によると、「大阪北部の人口増と南部の人口減という南北格差はより鮮明になりつつある。しかし今後、中長期的に危惧されるのは、大阪中核部における経済基盤の低下で起こる人口減少の圧力が、大阪全域に及ぶこと。北摂地域においても、職住一体の地域内での経済活動をさらに進めていく必要がある」と話す。

デリチユースJR西日本グループの子会社に

チーズケーキで有名なケーキ店「デリチユース」(箕面市小野原西6-14-22)が3月、JR西日本フードサービスネット(以下、JR西日本フ)に全株式を譲渡し、子会社となった。JR西日本フは、JR西日本の駅構内における飲食店の運営や山陽新幹線の車内ワゴンサービス事業を行っている。今回の統合で、売上拡大とともに、スイーツの製造販売という業容拡大を図りたいとしている。なお、デリチユース本店とJR大阪にある店舗は今後も変わらず営業を続け、代表取締役社長の長岡末治さんも留任する。



「横顔でなら」と紙面登場に応じてくれた長岡さん。長く続く店であるためにシェフの顔や名前は必要ないからと、店名に自分の名前を入らなかったのも、その思いの表れだ。

長岡さんは、2002年箕面に旧本店をオープンさせた当初から、ゆくゆくは異業種との経営統合を視野に入れていたという。「50年、100年続く店であり続けるために必要なことだと考えていた。いくら技術力があっても、個人で規模を拡大するには限界がある。資本金や営業力のある組織で動かないと、存続し続けることは難しい」と話す。

デリチユースは今後、人材育成やキッチン設備の充実を実現させ、主力商品のチーズケーキ以外でもさらにレベルアップした、「完成度の高い」スイーツを目指していくという。



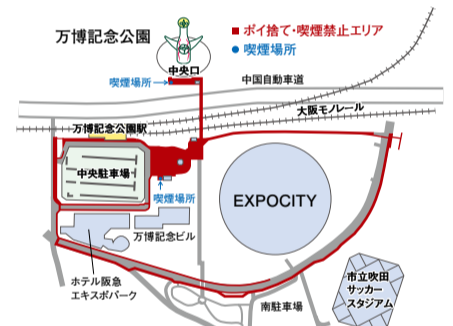
▲箕面本店はそのままに、主要駅のキオスクでの持ち帰り販売や駅でのレストラン業態など、更なる展開を計画中とのこと。



万博記念公園駅の周辺 条例でポイ捨て及び 喫煙禁止に

吹田市は、今年2月1日から大阪モノレール万博記念公園駅の周辺を環境美化推進重点地区及び、路上喫煙禁止地区に指定した。同市では、2015年2月に環境美化に関する条例が改正され、市内全域の道路や公園などで歩きたばこやゴミのポイ捨てなどを禁止。さらに、環境美化推進重点地区及び路上喫

煙禁止地区では、ゴミのポイ捨てや指定場所以外での喫煙が禁止されており、これらに違反し、環境美化指導員の注意に従わない場合は2,000円の過料を徴収することがあるとしている。



メシアター 一時休館 4月より改修工事

吹田市にあるメシアターが、4月1日から大規模改修工事に入るため、1年間休館となる。改修は設備の老朽化に伴うもので、外観は変わらない。トイレが全て洋式となり、大ホールのホワイエにエレベーターの設置が予定されているという。休館中も主催公演は市民センターや大学の施設などを借りて行い、受付業務は、旧・レストラン

「和食さつき」に仮設事務所を設けて今まで通り行う。来年4月以降のホールなどの予約抽選会は、主に市役所で行うが、変更されることがあるため必ずホームページで確認を。



平成29年3月12日から改正道路交通法が施行されます 協力:大阪府警察

【高齢運転者対策の推進】

- 1.臨時認知機能検査と臨時高齢者講習の新設**
75歳以上の運転者が、認知機能が低下したときに起こしやすい違反行為をしたときは、新設された「臨時認知機能検査」を受けなければなりません。また、臨時認知機能検査を受け、認知機能の低下が運転に影響するおそれがあると判断された高齢者は、新設された「臨時高齢者講習」(個別指導と実車指導)を受けなければなりません。
- 2.臨時適性検査制度の見直し**
認知機能検査で認知症のおそれがあると判定された高齢者は、違反の有無を問わず臨時適性検査(医師の診断)を受け、又は命令に従い主治医等の診断書を提出しなければなりません。
- 3.高齢者講習の合理化・高度化**
高齢者講習は、75歳未満の方や、認知機能検査で認知機能の低下のおそれがないと判定された方に対しては、2時間に合理化(短縮)されます。その他の方に対しては、個別指導を含む3時間の講習となります。



【準中型免許】

- 1.準中型免許の新設**
準中型免許では、車両総重量7.5トン未満(最大積載量4.5トン未満)の自動車を運転できます(普通自動車も運転できます)。普通免許で運転できる自動車は、車両総重量3.5トン未満(最大積載量2トン未満)となります。
- 2.準中型免許の受験資格・教習日数**
準中型免許は、18歳から普通免許なしでも取得できます。教習では、最短17日で取得可能です。*普通免許は最短15日
- 3.準中型免許に係る初心運転者期間制度**
初めて準中型免許を取得した方は、準中型自動車を運転するときには1年間初心者マークを付けなければなりません。

